

植物工場の取り組み事例

【事例1】

株式会社滝川アグリ 代表取締役 東 信彦

(〒073-0035 滝川市中島町198-1)

セイコーマートグループの農業生産法人「滝川アグリ」は、滝川市内2カ所の野菜生産拠点と2カ所の加工場を運営している。生産拠点の滝川グリーンハウス(中島町)では農地0・2町歩の中に8連棟のハウスを建てミニトマトを生産、江部乙ハウス(旧江部乙中)は農地0・4町歩にハウス4棟(約1200坪)を持ち、トマト、ピーマン、ミニトマトを生産している。



ハウスが8棟連結した栽培施設



ハウス内(ミニトマト)

【事例2】

株式会社 アド・ワン・ファーム 代表取締役 宮本 有也

(〒060-0004 札幌市中央区北4条西15丁目1-18)

園芸施設の建設や農業資材の販売を手掛ける株式会社ホッコウのグループ会社。
札幌市(丘珠):6,600㎡、豊浦町:26,400㎡、長沼町:10,000㎡に生産拠点を持つ。丘珠農場では、主にサラダ系野菜、ハーブ系野菜が中心で1次加工まで手掛けており、豊浦町ではイチゴの生産を行っている。年間売上6.5億円。



丘珠農場の栽培施設(12m×80m:1000㎡ハウス)



ハウス内(リーフレタス)

【事例3】

株式会社ホーブ 代表取締役 高橋 巖

(〒071-1544北海道上川郡東神楽町14号北1番地)

株式会社ホーブは、北海道上川郡東神楽町に本社を置くイチゴの苗開発や販売などを手がけるバイオ企業。新品種の研究開発から果実の販売まで行う。夏秋イチゴのシェアトップクラス。洋菓子メーカーに供給している。年間売上(連結)約36億円。



栽培施設(12m×80mハウス2棟で栽培)



イチゴ栽培状況

【事例4】

株式会社キーストンテクノロジー 代表取締役 岡崎 聖一

(〒231-0011 神奈川県横浜市中区太田町5-68-5)

キーストンテクノロジーは設立8年、植物工場の専門会社。LED照明を使った完全人工光型植物工場の開発・製造・販売を手がけ、「牛角」、「いろはにほへと」等の外食レストラン事業を全国展開する株式会社コロワイドMDへ48台導入している。葉物系、ハーブ系野菜を生産し、半分以上はバジルを生産している。



約100坪の空間に5段式ユニットを48台導入



栽培ユニットごとにLEDの照射を制御